

情 報 公 開 文 書

研究の名称	中腎様癌の臨床病理学的検討（多施設共同研究）
受付番号	358
研究機関の名称	富山赤十字病院（埼玉医科大学国際医療センター）
研究責任者	富山赤十字病院 病理診断科 部長 前田宜延
研究の概要	<p>【研究対象者】 富山赤十字病院で卵巣・子宮腫瘍の手術をうけ、病理標本が作製された患者を対象とします。</p> <p>【研究の目的】 中腎様癌（mesonephric-like adenocarcinoma, 以下 MLA）は子宮や卵巣に発生する特殊な腺癌です。中腎管遺残、あるいは類内膜癌の中腎様分化と考えられており、現在後者の説が有力とされています。</p> <p>MLA は、多彩な組織像をとり、類内膜癌のほか、性索間質性腫瘍や癌肉腫と見紛われることがあり、様々な診断名がつけられている可能性があります。実際、卵巣腫瘍の多い施設であっても、MLA と診断されている症例はほとんどなく、したがってその臨床病理学的意義は不明確のままとなっています。</p> <p>近年では、MLA の形質や形態学的特徴が明らかになりつつあり、そこで本研究において、手術後の標本を用いて MLA とすべき症例を免疫組織化学と形態により抽出し、その病理学的特徴や予後を解析することを目的としています。</p> <p>【研究方法】 MLA と判断した症例の標本（HE, 免疫染色、未染）あるいはパラフィンブロックを研究機関へ送付依頼。 個人を識別できる情報（氏名、住所、生年月日等）を削除し独自の符号を付し、プライバシーの保護には細心の注意を払います。</p> <p>【研究期間】 2007年4月1日から2025年3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 学会発表と論文としての公表を予定します。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法	ホルマリン固定パラフィンブロック・標本、臨床情報、血液データ
試料・情報の管理責任者	富山赤十字病院 病理診断科部長 前田宜延
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望および個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p style="text-align: center;">担 当 者 富山赤十字病院 病理診断科部長 前田宜延 電 話 番 号 076-433-2222 受 付 時 間 平日 14 時～16 時</p>